

【主題名】 自他の権利を尊重すること 内容項目 「C-(12) 規則の尊重」

【教材名】 ピアノの音が…… (東京書籍 新しい道徳6)

<あらすじ> マンションで起きたピアノによる騒音トラブル。「隣の女性のピアノがうるさい。もう我慢できない。静かに生活する権利があるから裁判を起こす」と言うおじさんからの苦情があり、管理組合の岡さんはトラブルの解決について悩む。

【ねらい】

内容項目の理解

自他の権利を大切にする道徳的価値について指導する。

児童生徒の実態把握

休み時間、自由に過ごす権利はあることを知っているが、騒々しくすることで静かに本を読みたい友達の権利を守っていないことには気付いていない。

本時のねらいを設定する

判断力 心情 実践意欲 態度

自他の権利を尊重しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

【指導の流れ】

段階	主な学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p>1 休み時間の過ごし方について話し合い、問題の所在を確かめる。</p> <p>○ 休み時間の過ごし方で困ることは、どのようなことがありますか。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <p>お互いの権利を大切にするために大事だと思うことは何だろう。</p>	<p>導入の工夫</p> <p>問題解決的な学習</p>
展開	<p>3 登場人物の心情を捉える。</p> <p>○ 「裁判を起こす」と言ったおじさんの気持ちを考えましょう。</p> <p>○ おじさんにうるさいと言われた女の人の気持ちを考えましょう。</p> <p>4 自他の権利を尊重するために必要なことについて考える。</p> <p>○ 二人の立場になって、解決に向けた話し合いを演じてみましょう。</p> <p>◎ 二人を解決に向かわせたものは何か考えましょう。</p>	<p>体験的な学習</p> <p>多面的・多角的</p>
終末	<p>5 自己の生き方について考える。</p> <p>○ あなたがお互いの権利を大切にするために、大事だと思うことはどのようなことですか。</p>	

【板書計画】

第○回道徳

・教室でさわぐ

・やりたいことができない。

挿絵

おじさん

・がまんできない。

・うるさくて困る。

・やめてほしい。

・静かに過ごす権利がある。

挿絵

女の人

・ルールを守っているのに。

・練習したいのに。

・ピアノを弾く権利がある。

解決した挿絵

おじさん

・相手の顔を見ると、あまり強く言えなかった。

・話を聞いて、ピアノを弾きたい気持ちがあった。

解決した挿絵

女の人

・どうしたら分かってもらえるのか、考えた。

・相手の気持ちをきちんと聞こうと思った。

解決に向かわせたもの

・ゆずり合う気持ち

・やさしさや思いやり

・相手の気持ちを考えて、自分ができることをする思い。

大事だと思うこと

・今まで自分の権利ばかり考えていたけれど、友達のことでも思いやる必要がある。

・自分のがまんすればいいと思っていただけれど、勇気を出して自分の権利を伝えようと思った。

【評価】

自他の権利の尊重について、問題解決的な学習を通して、多面的・多角的に考えようとしていたか。